

コミスクだより みやこだ



令和6年7月19日発行 No.2

都田小学校では、5月16日に第1回学校運営協議会、6月19日に第2回学校運営協議会が開かれました。学校運営協議会役員はPTA会長、企業経営者や元小学校長、自治会長など、地域で活動される方々で構成されています。

5月16日に行われた第1回学校運営協議会では2年生から6年生までの授業参観が行われました。その後いじめ防止基本方針についての説明があり、話し合いが行われました。委員の皆様からいただいた意見を掲載させていただきます。



- いじめる側は自分がされたらどう思うかについて、考えられるような支援をしていただきたい。
- いじていることを自分がされたらどう思うのかという思慮が少ない。それをどう伝えていくのが課題だと感じる。
- 挨拶するとき、目を見て挨拶できる子供が少ない。地域の人への挨拶だけでなく、子供同士でもできるように取り組む必要がある。

- 子供同士、自宅で遊ぶ様子を見て疑問に思うことがあった。子供に今日の遊び方について聞いてみたところ、特に気にする様子もなく、満足していた。相手の気持ちを考えながら遊んでほしいと思う親の気持ちを子供には伝えたが、どの程度伝えればよいか迷ってしまった。

【 校長から 】

- 人は考え方や感じ方がそれぞれ違うので、分かり合うことはとても難しい。だからこそ、自分が見えない思いを知ったり、気付いたりする経験が、子供の豊かな成長につながっていくと考える。
- 母の思いや気付いたこと、願うことは子供に寄り添いながらも伝えていくことは大切だと思う。そこで考えたり、話し合ったりすることで人との関わりについて学んでいけるのではないか。
- いじめは大人が見えないところで起こりやすい。「いじめはある」という視点で、私たち職員は見えないところを見ようとする努力をしている。
- 校長室をオープンにしているので、多くの子供たちが話に来る。それは、「自分のことを話せる、わかってくれる大人」が一人でも増えること、学校に安心できる居場所をつくりたいという気持ちで寄り添っている。

6月19日に行われた学校運営協議会では、5年生の社会科の授業を参観した後、校内研修にも参加していただき、御意見をいただきました。



まず5年1組「社会科」の授業参観を行いました。地元の米農家の方をお招きして行った授業では、子供たちが目を輝かせながら積極的に取り組む姿が見られました。

「どうしたら日本の米作りがこれからも続いていくのか」について自分たちで調べ、考えたことを発表しました。



- 子供たちのお互いの意見を聞き合う姿勢が素晴らしかったです。
- 担任の先生と児童の関係の良さが伝わりました。

いただいたご意見は今後の学校経営、授業等に生かしていきます。
こちらのQRコードから、学校運営協議会（CS）の詳細をご覧くださいことが可能になりました。ぜひ、ご覧ください。



← 第1回学校運営協議会



← 第2回学校運営協議会